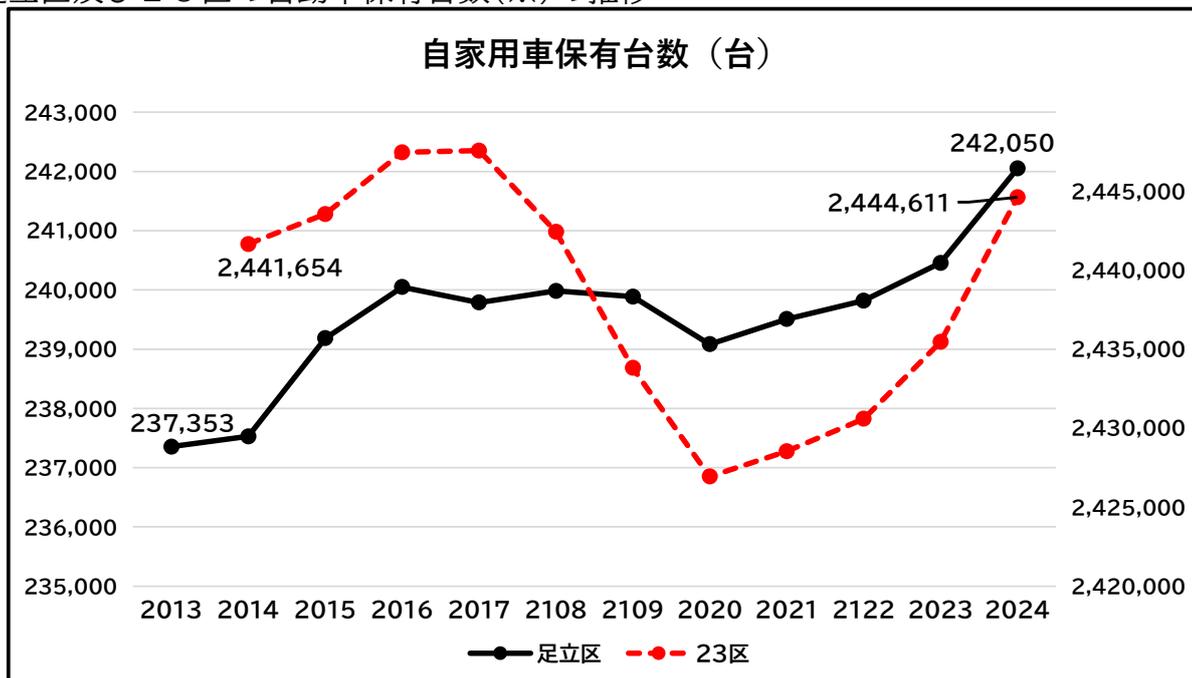


自動車部門のCO₂排出削減関連資料【CO₂排出削減目標設定・方策検討専門部会資料】

1 足立区及び23区の自動車保有台数(※)の推移



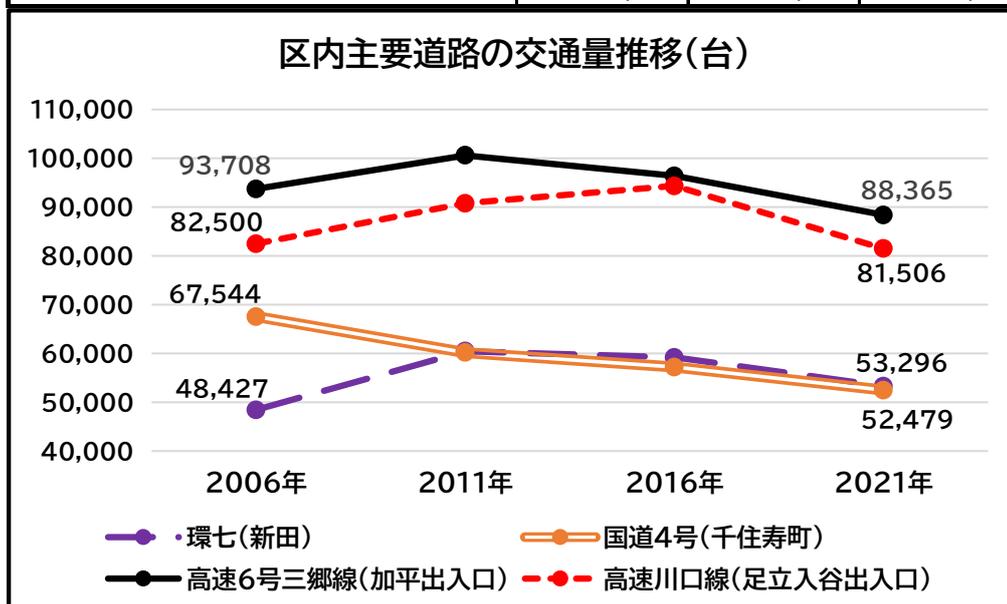
※ 足立区実績 関東運輸局「市区町村別自動車保有車両数」の足立区実績及び数字で見る足立「軽自動車等登録及び廃車台数」実績の合算
 23区実績 関東運輸局「市区町村別自動車保有車両数」の23区実績及び軽自動車検査協会「検査対象軽自動車保有車両数」の「東京主幹事務所(品川)・練馬支所・足立支所」実績の合算

2 区内の自動車交通量(主要箇所抜粋)の推移

国土交通省一般交通量調査・24時間自動車類交通量(上下合計)

【台】

計測箇所	2006年	2011年	2016年	2021年
環七(新田)	48,427	60,174	57,205	52,479
国道4号(千住寿町)	67,544	60,608	59,409	53,296
高速6号三郷線(加平出入口)	93,708	100,608	96,409	88,365
高速川口線(足立入谷出入口)	82,500	90,772	94,351	81,506

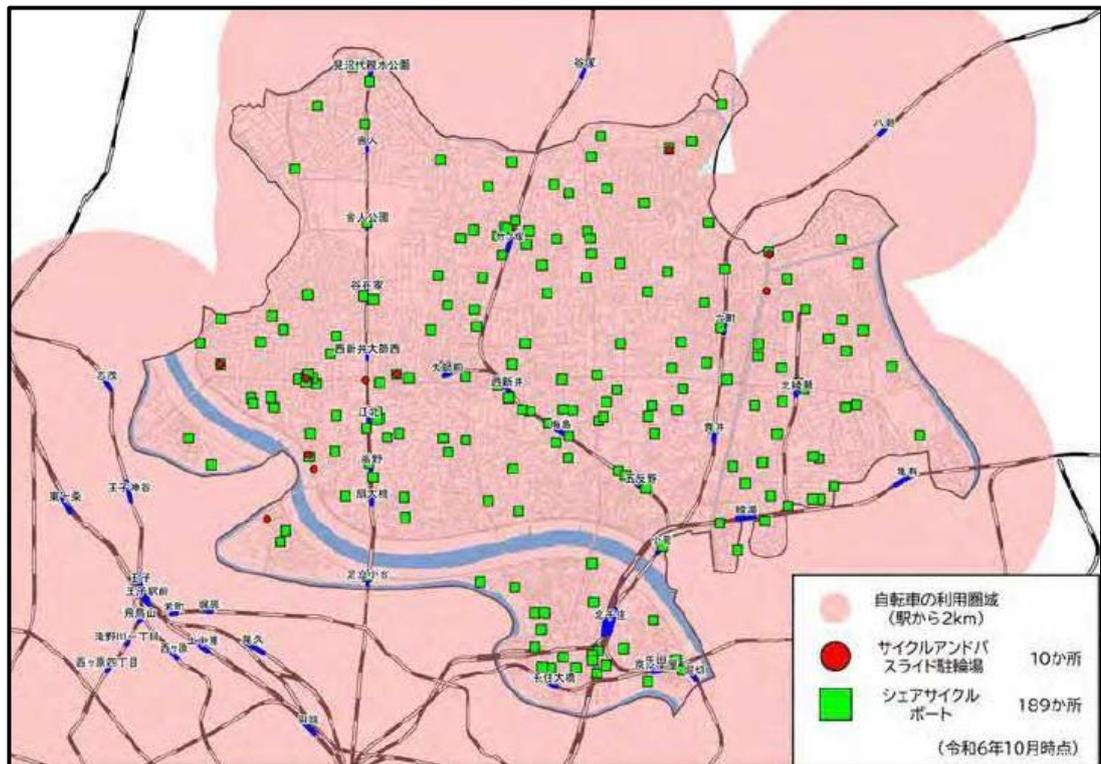


3 公共交通と自転車の利用（足立区地域公共交通計画より）

足立区は区内全域ほぼ平坦な地形であることから、自転車利用に適した地域であると言える。このため、自転車走行環境の整備やシェアサイクルの普及等を進め、自転車の利用を推進している。

足立区内のほぼ全域が周辺の鉄道駅から2km圏内である（下図参照）ことから、自転車を含めた乗り継ぎによる移動の利便性が高いことがわかる。

自転車利用圏域（駅から2km）図【令和6年10月時点（※）】



※ 令和7年2月末時点のシェアサイクルステーションは217か所

(1) シェアサイクル

足立区では、令和2年よりシェアサイクルの実証実験を行ってきたが、令和7年4月に新たな協定を事業者と締結し、本格的な実施に移行した。

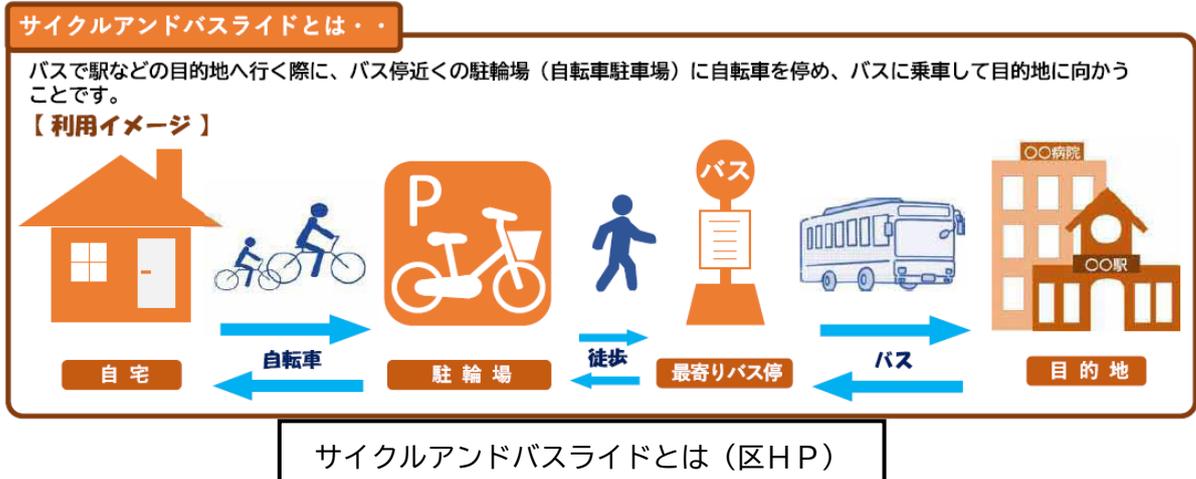


シェアサイクルステーション数・利用者数の推移（総合交通対策調査特別委員会令和7年3月資料）

(2) サイクルアンドバスライド

区内にはバス停近くの駐輪場に自転車を止め、バスに乗り換えて目的地へ向かう「サイクルアンドバスライド」駐輪場が10か所ある。

公共交通を補完するラストワンマイルの対応としてバス会社と連携しながら活用促進を検討していく。



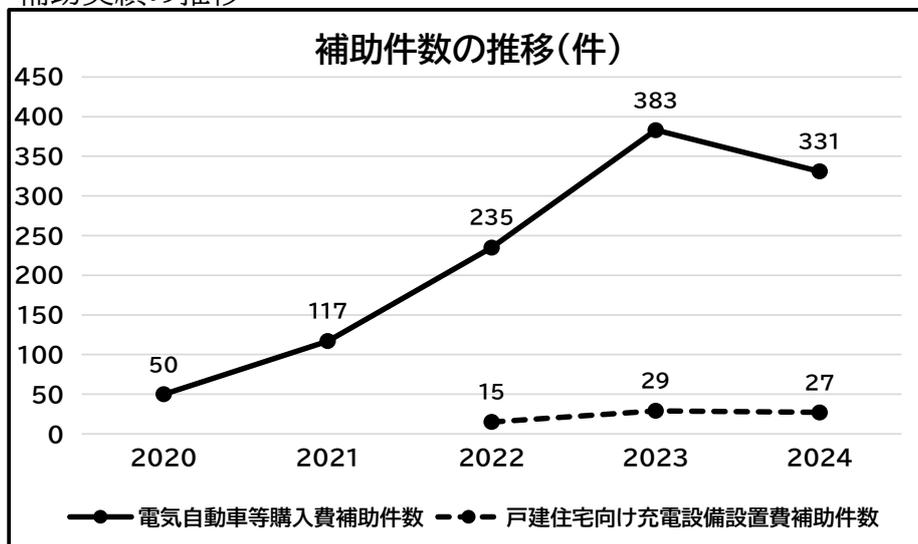
4 CO₂排出量が少ない自動車の利用への移行促進

電気自動車等購入費補助金(※)（2016年度～）

※ 電気自動車、プラグインハイブリッド、燃料電池車

戸建住宅向け電気自動車等用充電設備設置費補助金（2022年度～）

補助実績の推移



5 東京都の方針

2020年12月に小池百合子都知事は、2030年までに都内で新車販売される乗用車を電気自動車やハイブリッド車などの「非ガソリン車」に限定することを都議会で表明。

二輪車については2035年までにすべて「非ガソリン化」するとしている。